

★プロの演劇に感動★ ★少年芸術教室★

町教育委員会では、毎年秋に“少年芸術教室”を開催しています。これは、日頃芸術鑑賞に接する機会の少ない町内の小学4年生から6年生を対象に、プロの“芸”を提供し、豊かな感性を養ってもらおうと行われているものです。

今年は、10月4日に横芝小学校で、劇団“芸優座”による「ハンスと大悪魔」という演劇が子どもたちに上演されました。この劇は、グリム童話の数多い悪魔話の中から取り上げたもので、自らの魂を賭けて、勇気と知恵と純粋な心で悪魔に打ち勝つ少年ハンスの物語です。

幕が上がり劇が始まると、それまで騒がしかった会場も静かになり、舞台では“ハンスと悪魔”の戦いや、“もみの木の精”という悪魔の手下役のまぬけでおもしろいキャラクターに子どもたちの目はくぎづけ。真剣でコミカルな演技は、会場に集まった500人あまりの子どもたちに、笑いと感動を与えてくれました。



劇団「芸優座」により上演された「ハンスと大悪魔」



お年寄りのみなさんの楽しいひととき

お元気で長寿を 第41回敬老会

毎年恒例の敬老会が、10月20日に横芝中学校体育館で開かれ、町内から70歳以上のお年寄りのみなさん730人が出席しました。午前中に行われた式典では、實川町長や市原議会議長からお祝いのことが述べられ、90歳以上のお年寄りのみなさん70名と金婚式を迎えられた81組のみなさんが紹介された他、横芝町老人クラブ連合会表彰が行われ、

14名のみなさんが表彰されました。午後からは、みなさんお待ちかねの演芸。今年は、演歌歌手の花村菊江さんなどが出演し、ご本人の歌でもある「潮来花嫁さん」など、お年寄りもよくご存じの歌を自慢ののどで披露。その他漫才師によるコントも行われ、みなさん楽しい一日を過ごしました。

秋晴れに恵まれた10月20日(日)、第13回ふれあいウォークが九里町の伊能忠敬誕生の地からサンライズ九十九里までの約10キロメートルのコースで行われ、子どもからお年寄りまでの83名の参加者が、秋の日差しの中、潮風を受けながら心地良い汗を流しました。

この催しは、気楽に楽しく運動しながら体力づくりの普及を図ろうと、町教育委員会と横芝町明るい県民づくり推進員連絡協議会(大藤和一会長)の共催で年2回開かれていたものです。

参加者は、午前8時30分集合場所の町文化会館からバス2台に分乗して出発。午前9時、今回のコースの起点である伊能忠敬誕生の地から歩き始めました。

最初の休憩地である宮島公園は、農業用水池を改良し、釣池ゾーンや自然観察ゾーンなど7

潮風を 体で受けて ふれあいウォーク

つのゾーンに整備された公園で、美しい季節の移り変わりを見せられる「町民いこいの場」。

ここから、九十九里鉄道跡を利用して昨年完成した「きどうみち」を通り昼食場所の片貝小学校に到着。各自で持ち寄ったお弁当と、役員の用意したとん汁を、みなさんおいしそうに食べていました。

午後は「きどうみち」から海岸に抜け、最終目的地のサンライズ九十九里までの道程を、美しい海岸線を横目に気持ち良く歩き終えました。

そして午後3時30分、バスで全員無事に町文化会館へ到着。鈴木俊治さん(上町)、鈴木泰子さん(上町)、今関タケさん(東町)、加瀬三郎さん(鳥喰新田)に連続10回の参加記念品が教育長から贈られました。



町民いこいの場として整備された宮島公園を散策